

2020年度 第3回 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会  
議 事 録

1. 開催日時： 2021年2月18日(木) 19:00～19:57
2. 開催場所： オンライン開催、町田市医師会館
3. 出席委員： 川村益彦、五十子桂祐、山田潔、山崎優子、西原佳子、  
齋藤秀和、新甫孝子、星野和宏、川島政美、北場充、常盤弘幸、  
柏木真吾(代理)、及川裕美子、永見直明、内山良平(代理)、大庭陽平、  
小金栄太、長谷川昌之、齋藤美和子、江成裕司、古味斉  
計 21名(敬称略)
4. 欠席委員： 高橋克也(システム不具合で参加できず)
5. 市側出席者： いきいき生活部 岡林得生  
いきいき総務課 佐藤智恵  
介護保険課 菊地原裕、平田亮、佐藤里恵  
高齢者福祉課 川島一敏、皆川麻美、国弘麻未、山田冬射、二串裕人  
保健総務課 田村光平、吉岡明良  
市民病院 田代章憲、飯草みすず (敬称略)
6. 医師会出席者： 事務局 阿部斉人 (敬称略)
7. 傍聴者： 29端末46名
8. 記 録： 町田市介護人材開発センター 石原正義、宮本千恵

《資料》

- 資料1 第14回多職種連携研修会について
- 資料2 町プロ多職種研修会緊急企画 動画配信について
- 資料3 医療と介護の資源マップ情報更新のお願いについて
- 資料4 第9回喀痰吸引研修報告
- 資料5\_1 地域ケア推進会議報告書(鶴川圏域)
- 資料5\_2 地域ケア推進会議報告書(南1)
- 資料5\_3 地域ケア推進会議報告書(堺1)
- 資料6 第15回多職種連携研修会開催要綱案
- 資料7 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト実施方針(2021～2023年度)
- 資料7別紙1 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトの取り組み(～2020年度)
- 資料7別紙2 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト(2021～2023年度) 工程表

《開 会》

1 開会挨拶

【川村会長】 緊急事態宣言でこのような開催の形になったが、こういうことも一つの経験かと思う。ご存じのように感染の方は減ってきて、少しはほっとする方向に向いてきていると思うが、まだなかなか終息するところまでいかないわけですが、今、ワクチンの接種が始まったところで、これについては医師会と町田市で鋭意協議している。準備が整い次第始まる。今日、高齢者施設の方への接種については保健所から説明があるので聞いていただきたい。いずれにしろコロナはまだ続くので、皆さんしっかり感染予防して日々の業務を行っていただきたい。今日の推進協議会もよろしく願いいたします。

2 報告事項

- (1) 第14回多職種連携研修会開催報告について 【資料1】  
【高齢者福祉課・国弘氏】 国弘氏により資料に沿って報告された。

初めてのオンラインでの試みでしたので、慣れないところがあり、ご参加していただいた方はいろいろ思うところがあったかもしれませんが、すみませんでした。初めてのオンラインの開催で不手際もあったが概ね好感触で終わらせることができた。アンケートで寄せられた感想や要望は今後の研修会に生かしていきたい。また、今後の研修会で扱ってほしいテーマもいくつかありますので、今後の研修会に生かしていきたい。今日のように研修会も録画しており、期間限定で町プロポータルサイトにて公開している。ご参加いただけなかった方にも動画をご覧いただけるので見ていただきたい。

【山田委員】 アンケートの結果で102名参加されたということだが年齢層はどのようなかんじか。

【高齢者福祉課・国弘氏】 専門職向けなのでアンケートで回答者の属性は取っているが年齢は取っていないため、申し訳ないがわからない。

【山田委員】 オンラインを今後やっていくうえで一般の方は参加するのが難しい。高齢の方は参加が難しいのではと思って、そういう方が参加されていないのではないかと考えた。年齢の幅が分かれば参考になるかと思った。

#### (2) 多職種連携研修会特別企画・動画配信について 【資料2】

【高齢者福祉課・二串氏】 二串氏より資料2に沿って報告された。

10月に行われた第2回町プロ協議会でも一部ご報告させていただいたので、その後、追加された動画について報告された。

【五十子委員】 動画の再生回数が減っていると思うが、今後の対策はどうか。

【高齢者福祉課・二串氏】 回数が減っているように見えるが、公開されてから数字が伸びている状態である。「身近な物でできる応急処置」は公開して4か月たつので、毎月再生回数は少しずつ減っているが、総再生回数はどんどん増えている状況である。「正しい手洗いの仕方」も前回の協議会時点では800回程度だったが200回くらい伸びた。おそらく、このまま動画を公開しなくなると、このサイト自体にアクセスしなくなるので減っていくと思われる。これからも皆様の役に立つような動画を公開して、過去に出したのものと一緒に見てもらえるようにしていきたい。

【五十子委員】 次回からは増えていることが分かる資料にしていきたい。

【高齢者福祉課・二串氏】 第2回、第3回どう増えていったかという資料に次は変えていく。

#### (3) 医療と介護の資源マップ情報更新のお願いについて 【資料3】

【高齢者福祉課・二串氏】 二串氏より資料3に沿って報告された。

1月に既に依頼文を出させていただいた。毎年4月に更新を行っており、提出期限が2月22日となっている。連絡会の中で取りまとめをして22日に間に合うように提出していただきたい。間に合わない場合は個別に事務局に連絡をいただきたい。

#### (4) 第9回喀痰吸引研修の実施について 【資料4】

【町田病院・赤平氏】 赤平氏より資料4に沿って報告された。

今年度はコロナウイルス感染対策として人員を16名に減らした。受講に際しても受講者の2メートルのソーシャルディスタンスで座席の配置、手指消毒、検温など対策を講じて行った。2日目も1グループ4名を上限にして感染対策を徹底して行った。人数や修了証の発行者数などは資料をご覧ください。

【五十子委員】 2014年度から訪問介護からの人数が圧倒的に多いと思うが、これは施設や通所にはあまりニーズがないとみていいのか。

【町田病院・赤平氏】 一度ニーズに関しては、研修を開始する際に事業所にアンケートをとった。今回に関しては訪問介護事業所を主でやらせていただいた。

【五十子委員】 施設になるといわゆる3号じゃなくて1号、2号の方がニーズが多くて、3号を受けないという形なのか、そもそも喀痰吸引の研修に対するニーズがないのかがわからないと思ってお聞きした1、2号のニーズが多くて3号を受けないのか、そもそも喀痰吸引研修のニーズがないのか。

【町田病院・赤平氏】 施設では1号、2号が主になるので、3号研修に関しては在宅でのニーズが主になっているということでその認識で大丈夫です。

【五十子委員】 行政の方は1、2号がどれくらい受けているか把握しているのか。

【江成委員】 施設で実施していることは聞いているが人数までは把握していない。

(5) 地域ケア会議について

【資料5】

【長谷川委員】 長谷川氏によって資料5に沿って報告された。

鶴川圏域で行われた多職種の情報共有の新たなツール ICT を活用した多職種連携、多職種情報共有の必要性や実効性を皆さんと共有した。実際に実事例を各専門職の方に上げていただき、ICT を活用した連携がスムーズだったという話をお聞きした。詳細はレッツケア会議8号をご覧ください。南圏域では南第1高齢者支援センターは医療機関が南町田病院、慶泉病院があるので、そちらからコロナ禍における現状を共有させていただいた。介護の分野が医療に負担をかけずに協力できるか情報を共有した。堺圏域では堺第1高齢者支援センターが支援センターに寄せられる相談の中で、精神疾患をお持ちの高齢者の方の対応は支援センター、ケアマネジャー、サービス事業所含めて対応が難しいということで、島本先生に認知症と精神疾患の違い、精神疾患の方への関りという点でお話をいただいた。今後も継続的にこの課題について先生のご協力をいただきながら行っていく予定である。

【五十子委員】 鶴川圏域のMCSについて、町田市の医師会として、町プロの会長でいらっしゃる川村先生が医師会長の頃にカナミックのシステムを医師会と介護の連携について進めていきたいということがあってやっていた経緯があったが、鶴川の中からカナミックという文字が一つも出てきていないように思うが今後、どう考えているのかお聞きしたい。

【長谷川委員】 今回、鶴川の圏域でMCSを採択された理由は、鶴川圏域の中の医療・介護・福祉職の中でMCSを活用している方が多かったということ、事務局として操作方法など人に説明ができる人材がいたということで、今回、このMCSを使われているというふうに聞いている。カナミックなど他のものを使うことを否定しているわけではなく、説明ができることでとっかかりがしやすかったということでMCSを活用していただいている。もう一つMCSはスマホでの活用がしやすい。カナミックはスマホのブラウザ問題で難しいということで、ICTを使うのに皆さんハードルが高いということがあるので、少しでも垣根を低くするためにこちらを使われている。

【五十子委員】 もう一回お聞きしたいがMCSを採択したということはMCSを使って鶴川の圏域をやりましょう、ということになるのか。カナミックは使わないということなのか。

【長谷川委員】 あくまで鶴川圏域限定の中で、そもそも希望者ですのでICTを活用したくないという方もいらっしゃいますので、電話やFAX、メールで既存のとおりやりたいという方もいらっしゃいますので、鶴川のMCSを使うことにご賛同いただける方ということで活用している。特に鶴川でこれを選んだというわけではない。採択ではなく、これを皆さんで使っていきましょうということ。

【五十子委員】 それでは鶴川圏域でカナミックを使っていく地域ケア会議も行われていくという認識でよろしいか。

【長谷川委員】 まだそこまでは達しておらず、他の圏域でMCSを使われているところもあれば、カナミックもあるので、他の圏域で考えられるかもしれませんが、今のところ鶴川ではカナミックを使ってやっついこうという話は出ていない。

【江成委員】 様々なツールもあるようですので、最近入ってきた情報で東京都の方でプラットフォーム的なツールも開発していてMCSとカナミック両方見られるものもあるようなので、まだまだ調査は必要かと思っています。私も不勉強でどちらがどういう長所があるのか短所があるのかまだわからないので、そういった意味でも、今回、鶴川でMCSを検証してもらったので、聞いている感じだとカナミックはカルテやそういった内容を共有するようなシステムで、MCSは言ってみればラインのような連絡を取り合うツールのようだ。私もはっきりと把握しているわけではないが今回は鶴川で検証してもらったので、その結果や使ってみての状況を考えていながら、どんな状況が一番いいのか皆さんで考えてみていただきたいと思っています。

#### 4 協議事項

##### (1) 第15回多職種連携研修会について

【資料6】

【高齢者福祉課・国弘氏】 国弘氏より資料6に沿って説明された。

先ほど、山田先生からお話があったとおり、高齢者の方のオンラインは難しいところがあるので、今後、DVDにして支援センターで見られるようにするか、今後の使い道を考えていきたいと思う。

【五十子委員】 資料の上部に上映会プログラムと書いてありますが、上映するののか。

【高齢者福祉課・国弘氏】 当初、市民フォーラムのホールで上映会をする予定だったため、訂正し忘れたものである。

【川村会長】 高齢者の方に見ていただくためにいろいろな方法があると思うので、各施設で少人数の方に見ていただくなど方法があると思う。ご協力をお願いしたい。

【斎藤議長】 DVDを支援センターで活用検討ということなので、介護者教室など支援センターでも検討していきたい。

【山田委員】 オンラインで流す期間は3月20日からいつまでか。

【高齢者福祉課・国弘氏】 今のところまだ決めていない。今のところ、期限を設けるつもりはない。

【山田委員】 我々もまだまだ市民公開講座などうまくオンラインで出来ていないなかで、こういうのがどういう結果になるのか知りたいので、ある程度の期間を区切ってアンケートを取るなどして、例えば半年でどのくらい見られたとか、年齢層がわかるとうれしく思う。

【高齢者福祉課・国弘氏】 再生回数は動画と同じで集計できると思うが、アンケートが取れるかなどは検討していきたいと思います。

第15回多職種連携研修会について全会一致で承認された。

##### (2) 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト実施方針 【資料7】

【高齢者福祉課・皆川氏】 皆川氏より資料7と別紙に沿って説明された。

本日は次年度からの実施方針案をご提案する。町プロ協議会では2018年度に本プロジェクトの目標を(1)~(4)の4つとして各取り組みを推進している。一方で昨年度から続く新型コロナウイルス感染拡大により専門職の感染対策や濃厚接触者となった高齢者の療養をどう支えるかなど新たな課題が生じている。そこで今回これまでの4つの目標に加え新たに感染症対策等非常時の体制整備を加え5つの目標に取り組む内容に修正し、ご提案させていただく。また、本プロジェクトの内容を定期的に振り返り、より効果的な取組に繋げるため、目標値の設定や効果の検証方法の検討を行うことを追記した。この検討にあたっては、この協議会の場や場合によっては部会を設置するなどして皆様のご意見をいただきながら進めたいと考えている。

【五十子委員】 資料7の(2)①および③について記載内容に誤字がある。もともと町プロの協議会は年に4回やっていたと思うが、行政の方の業務が多忙になるので3回にしたいという意向があつて3回になっていると思う。今、このコロナ禍にオンラインでやったりしている状況の中で、先ほどから間違いが多いという印象があるが、行政はどのレベルの方が確認してこれを出しているのか。大丈夫か。

【江成委員】 私が確認をしている。次からはこういうことがないよう、気を付けていく。

町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト実施方針(2021~2023年度)(案)は承認された。

#### 4 その他

##### (1) 各協議会委員の報告・意見交換など

【長谷川委員】 医療と介護の連携支援センターにあった相談の中で、ケアマネ連絡会と通所事業所連絡会に相談して検討に至ったことを皆様に報告したい。今年の年初、新型コロナの陽性者、濃厚接触者が非常に多くあつたとき、デイで陽性者が判明して濃厚接触者が出た際に、ケアマネジャーに濃厚接触者の情報が下りてこないお話があつた。実際にデイを利用した後に家に戻って、訪問診療の先生だったり、訪問看護や訪問介護のヘルパーが家に行ったときに、実はこの方は濃厚接触者だつたということがあつた。ケアマネジャーが情報を取ることが非常に後手に回る状況にあつた。実際に町田市へ

確認したところ、陽性者の情報及び濃厚接触者に関する情報を出すのは難しい、と話があった。実際に担当している方で濃厚接触者が他のサービスを使って、陽性者になって、そこでまた感染が広がったという事例もケアマネジャーから相談があった。利用者への切れ目のないサービスであったり、感染リスクを下げながらサービスを継続するということで、双方の連絡会に提案をさせていただいて、町田市における新型コロナウイルス感染拡大防止のため関係事業所に情報提供をいただくことを提案した。また、ケアマネジャー連絡会と通所連絡会連名で市へ陽性者の発生状況について事業所に情報提供いただけるよう要望を提出した。おそらく各連絡会、団体でも、いろいろな形で今回、陽性者や濃厚接触者の有無で非常にご苦労があったかと思うので、町プロを通して取り組んでいければいいと思います、ご報告させていただいた。

【星野委員】 今ケアマネジャー連絡会と連携して早く正しい情報を多くの関係している事業所が知りたいということで始めた。実際、通所事業所でコロナの方が発症したときにもものすごく連絡に時間がかかってしまうのが実情。デイサービスを利用している方は複数のデイサービスやショートステイを利用していたり、訪問看護、訪問介護などサービスが重なっている方が多い。そのために正しい第一報をどういう形で出したらいいかと進めて、ケアマネジャー連絡会とフローチャートを作った。これは、個人名は出さない。事業所でいつどういう形で何人の方が確定したというのを第一報として通所事業所連絡会で必ず出しましょうということを周知している。そこに介護人材開発センターにもかかわっていただいて早くスムーズに関係しているところに情報が回ればと考えている。あくまでも個人名で発信するのではなく、自事業所で感染者が出た場合、それに関連する全部の事業所へスムーズに連絡がいくことを目的に作っている。

【五十子委員】 大変いい試みだと思うが、ウイルスの感染症なので、濃厚接触や陽性の人というよりも基本的に対面している人たちは陽性だと思っている必要性があるのではないかと思う。その基本を忘れてはいけないと思う。

【長谷川委員】 ケアマネジャー連絡会では濃厚接触者であるとかは関係なく、訪問の際はマスク、フェイスシールド、手袋などをして感染予防に努めようと周知をしている。通所事業所連絡会も最大限の防護をしながらやっている。基本的な感染防護に関しては町プロの動画も確認しながらやっていただいていると考えている。

## (2) 新型コロナウイルスワクチン接種の説明

【保健総務課・田村氏】 田村氏より追加資料に沿って説明された。

現在、町田市では臨時接種推進室という体制で進めている。まず、医療従事者向けの接種が3月に始まり、4月から高齢者向けの接種を考えている。今回は、高齢者の施設に関する資料を出した。施設に関しては、介護老人保健施設や福祉施設などに入所している自立度が低い方は、施設内における接種を考えているが、実施方法は調整中で具体的なところは決定していない。有料老人ホームやサ高住などに入所している自立度が高い方は、市でいくつか用意する集団接種の会場に来てもらったり、医師会に委託して各医療機関での個別接種も考えている。高齢者施設の従事者への接種は、高齢者の次に優先される職種ということで接種を進めていくが、施設が発行する高齢者施設従事者である証明書をもって自分の住民票があるところで接種することになる。施設には証明書を発行する手続きが生じるので、詳しい記載のある追加資料1-2をあとでご覧いただきたい。

まだ体制や実施方法については検討中の部分が多いので、詳細が決まり次第、各施設に周知していくので、通知には必ず目を通していただきたい。

## (3) 次回の協議会の開催日程

2021年5月を予定。日にちが決まり次第連絡します。

## 6 閉会挨拶

【齋藤副会長】 皆さん、お疲れ様でした。来年度に関しては未定だが役員が変わるところもあると思う。

参加してくれた皆様、ありがとうございます。今回はリモート開催ということで音割れや聴きにくいこともあったと思う。リモートは意見交換も活発にできないと個人的に聞いていて思った。慣れていけば活発

にできるようになるのかもしれないが、今回1年間はいろいろなところで慣れることが大切かと思った。先ほど川村会長からもあったが、コロナ感染防止の生活がまだまだ続くと思うので、皆さん気をつけて生活してほしい。皆さん、ありがとうございました。

以上の議案審議、協議を行い、2020年度第3回の協議会を閉会した。

以 上